

平成14年度全国高校総合体育大会第55回全国高等学校バスケットボール選手権大会

平成14年 8月5日 (月)

会場 多賀中学校体育館

【女子の部】 第4日目 Dコート 第2試合

チームA 札幌山の手 北海道	59	{ 17 1Q 20 15 2Q 23 9 3Q 20 18 4Q 10 OT	73	チームB 県立富岡 神奈川
----------------------	----	--	----	---------------------

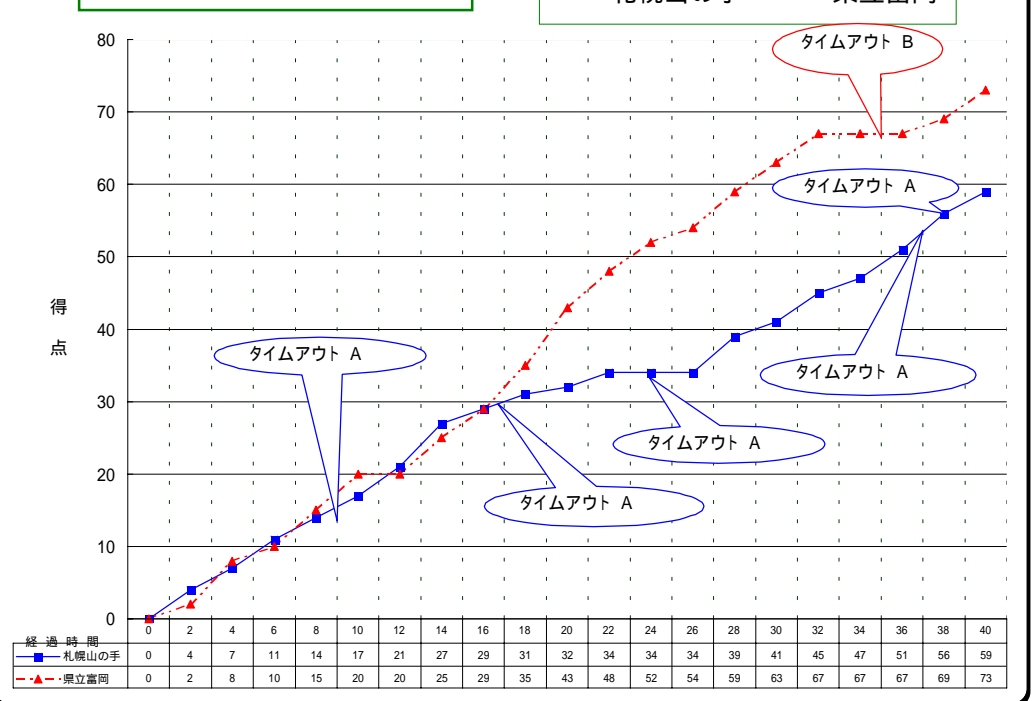
札幌山の手

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	山根 綾心	3	1	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	5	
5	佐々木麻湖														DNP	
6	大槻 容子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	5	
7	高橋伸素美	11	2	9	2	6	1	2	4	0	0	2	0	0	35	
8	上野 淑恵	5	0	0	0	2	5	6	5	2	7	2	0	1	26	
9	畑 有希	5	0	7	2	5	1	2	3	0	2	3	0	2	39	
10	山本 結														DNP	
11	横山 茜理	8	1	10	2	5	1	5	2	0	0	1	1	0	30	
12	橋本 梢														DNP	
13	鈴木あゆみ	19	0	0	8	14	3	4	5	3	3	2	0	0	24	
14	高柳 佳奈	0	0	1	0	0	0	0	2	1	4	0	0	0	13	
15	黒木 祐花	8	0	0	3	4	2	4	4	3	5	0	0	0	23	
コーチ	渡邊 勝也								0							
		59	4	28	17	36	13	23	25	9	21	12	5	5	1	200
		確率	14.3%	47.2%	56.5%				計	30						

県立富岡

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	松井 涼子	9	2	4	1	6	1	2	1	1	5	0	2	0	1	40
5	井浦 幸子	5	1	1	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	0	16
6	関根麻衣子	5	1	4	1	3	0	0	1	0	0	1	0	1	0	29
7	森本 由樹	14	0	1	4	9	6	10	4	2	4	1	3	2	0	22
8	萩原 歩	20	0	1	8	18	4	4	2	6	0	2	0	2	1	37
9	蒲谷 千恵	6	0	2	2	4	2	3	0	0	2	0	0	0	1	12
10	倉光栄利子	12	2	9	2	3	2	4	1	0	5	2	3	2	1	31
11	深見 沙代	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
12	四家 香利	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
13	杵鞭 喜子															DNP
14	陳 美智	2	0	0	2	8	0	0	4	2	2	1	1	1	0	9
15	中谷由貴子															DNP
コーチ	星澤 純一								0							
		73	6	22	21	52	15	23	17	11	18	9	9	8	4	200
		確率	27.3%	40.4%	65.2%				計	29						

2分毎による得点の推移



戦評

両チーム共ハーフマンツーマンでスタート。山の手は#8上野、#13鈴木のインサイド、富岡は#7森本、#8萩原のインサイド中心に攻撃を仕掛けるも、互いに素晴らしいディフェンスに小さな波が行ったりきたり。反面両チーム共序盤からファールが重み、山の手は中心選手の#13鈴木が前半で4ファールとなる。

試合が最初に動いたのは第2P残り4分。富岡がディフェンスを1-2-2ゾーンに変えると、山の手はこれを攻めきれない、加えて山の手は、富岡5ファール後のフリースローを決められず(前半13/23)、これがリズムに乗れない原因ともなった。その結果、富岡が山の手を少し引き離し、32-43で前半終了。

後半、山の手はマンツーマンのままスタート。これに対し富岡は#8萩原のポストプレー、#10倉光のドライブ・3ポイントシュートなどで着々と加点していく。一方山の手は富岡のゾーンを相変わらず攻めきれず、流れは次第に富岡へ。

更に第3P残り3分に#8上野が、第4P残り8分に#13鈴木が退場し、山の手はキープレイヤーを二人共失ってしまう。第3P終わり辺りから山の手は2-2-1オールから2-1-2ハーフへのゾーンに切り替え、そして#11横山、#7高橋が3ポイントを狙うが、追いつくには及ばず、結局富岡が準決勝に進んだ。

主審 高橋 弘俊

副審 森田 周治

記入者 田原 司郎